

易经解字

題字 守破離 捶毫 松山市立湯山中教諭 池内与史子 解説は3面

生き物相手に仕事をしていると、新知見や新記録など重要な発見に出くわすことがある。その発見は学芸員が見つけ出したものだけではなく、一般市民の方から寄せられることも決して珍しくない。面河渓で大学生が動画撮影していたモグラは、愛媛では10体ほどしか見つかっていない、そして面河渓では約50年ぶりの発見となるアズマモグラだった。スマホ画面で見せてもらつた後、現場に飛んでいつたが既にその姿はなかつた。新居浜市別子の古民家で小学生が見つけたガガンボのような昆虫は、愛媛で30年記録のなかつた珍しいカメムシ、ゴミアシナガサシガメだつた。ツイッターに投稿された写真から巡り巡つて当館に実物が届いた。その生態は全くの謎に包まれていたが、現地調査によりクモを捕食することなど続々と新知見が得られていく。



面河山岳博物館
係長(学芸員)

生き物好きだけでは 務まらない博物館の仕事

(2) 学校紹介 附属小学校
(3) ふるさとに生きる
(4) 特集 旅・たび
(5) (6) (7) 日連教山口大会印象記
(8) ふるさとスケッチ
ローカルトピックス

発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスピワール愛媛又教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyoukikai.jp

うな日々の積極的なレフアレンス業務の積み重ねの先に見いだされる。あの博物館に聞けば何か分かるかも、答えに近づくのでは?という市民の期待の高まりは、博物館の機能(資料収集・資料管理・調査研究・普及)が社会の中で認知されるチャンスを生み出すに違いない。市民からの信頼を得るという意味では、博物館業務は生き物相手よりも人相手の部分が大きく占めているとも言える。新米学芸員だった約20年前、ある先輩に「口酸っぱく言われたのは、「市民からの質問にはやりすぎぐらいの対応をしろ!」まずは現場に飛んでいけ!」だつた。今でもその教えは忘れない。

がスカイブルーの色変わり個体(突然変異)だった。本種の青い色変わりは稀で、愛媛では初確認だった。博物館には毎日のよう市民から、電話やメール、対面で質問が寄せられる。その内容は観光情報や花曆、生き物の同定や飼育方、文献調査など多岐に渡り、それら全てに丁寧に答えるため、学芸員は一定以上時間かけている。もちろん学芸員が全ての分野に精通しているわけではなく。苦手分野であれば他の博物館や研究者へとつなぐハブとしても機能する。市民による新発見は、この上

この夏、男子バケットボールワールドカップに興奮した人は多いだろう▼残り時間わずかで、逆転勝利し、最後まであきらめず必死でプレーした選手の姿が、強く心に残っている。さらに、最終戦での勝利により、48年ぶりに自力でオリンピックへの出場という快挙を決めた▼今回の日本チームの活躍は、逆境であつてもあきらめることなく突き進む力、それに向けて日々努力することの大切さを改めて教えてくれた。将棋棋士の羽生善治九段は、次のように言つてゐる。「自分自身を裏切らない努力の姿勢が未來の結果として現れてくる。」この言葉通りである▼では、その努力ができたのはなぜか。それは、「アジア1位になる、パリオリンピックへ出場する」という大きな目標があつたからである。教育においても、大事なことである。子どもに目標や夢をしつかり持たせることができれば、目標を達成するために情熱を持つて学び、子ども自身のよりよい成長へとつながっていく▼ある学校的校長室に掲げられている言葉が頭に浮かぶ。「教育は、信頼と尊敬をもつて成り立ち、愛情によつて育つ」▼毎日の子どもたちとの愛情あふる関わりの中で、多くの子どもに大きな夢や目標を持たせたいものである。

ひとこと

愛媛県小中学校教頭会
会長 敬
佐伯組織力の向上に
向けて

た。この一言で、チームに心理的安全性が確保されたと言われています。

学校現場も同じではないかと。心理的安全性が教室に確保されれば子どもたちは…。職員室に確保されると先生方は…。

昨今のスポーツニュースには、明るい話題がたくさんあります。とりわけ日本代表チームの活躍は目覚ましく、侍ジャパンのWBC優勝は大いに盛り上がりました。なでしこジャパンの快進撃や、あかつきジャパンのパリオリンピック出場権獲得は記憶に新しいところです。選手個々の能力やスキルの向上はもちろんですが、組織としてのチーム力の強化や向上が活躍の礎となっているのは間違いないありません。侍ジャパンの栗山英樹監督は、「失敗でしか人は成長しない。失敗させてあげるために監督がいる」とおっしゃっています。

全国公立学校教頭会研究大会石川大会において、ウェルビーアイネングな学校組織づくりが話題となっていました。ウェルビーアイネングな組織に共通する最も大切な要素は「心理的安全性が確保されていること」だそうです。

学校が抱える山積した課題ばかりを見てしまうと、モチベーションは上がりません。子どもたちにとっても、先生方にとっても、学校は楽しいところではなくてはなりません。これからも子どもを伸ばすことを最優先とし、校長先生のご指導の下、ウェルビーアイネングを通じて、学校として組織力の向上に努めたい…と思う今日この頃です。

学 紹 介

No.242

愛媛大学教育学部附属小学校

なかよくすすんでやりぬく



愛媛大学教育学部附属小学校は、松山城の東に位置する、静かな住宅地・持田地区にあります。校内にはたくさんの銀杏の木があり、10月になると葉が色付き始め、その落ち葉で正門辺りの通路は黄色いじゅうたんを敷き詰めたようになります。また、附属小学校のシンボルである大きなクスノキや観察池もあり、メジロ、シジュウカラなどの野鳥が集まっています。こうした自然豊かな学校で、校訓「なかよくすすんでやりぬく」のもと、子どもたちがすくすくと育っています。

ご存じのように、教育学部の附属小学校として教員養成のための教育実習を行っていることが本校の大きな特色です。毎年9月から10月にかけて教育実習生を受け入れ、現場実践を通して、学習指導の在り方や教師としての姿勢、や

りがいなどを伝えています。子どもとのかかわり合いを通して、学生の顔はだんだんと教師の顔へと変わっていきます。子どもたちも、自分たちに優しく接してたくさん遊んでくれる教育実習生が大好きです。

大学や他の附属学校園、関係諸機関との連携を図り、教育の内容や方法についての研究を推進することも本校の大きな使命です。教育目標「自己」を拓き、ともに生きる児童の育成」を実現するため、「探究心を持つて、自然や社会、文化などとかかわり合い、学びを楽しもうとする子ども」「目標の実現に向けて、自省しながら学び続けようとする子ども」「集団の一員としての自覚を持ち、他者と理解し合って生きようとする子ども」を育てる授業の創造を目指し、研究・実践を積んでいます。毎年2月に開催する「愛媛教育研究大会」では、授業公開、研究発表、講演などを行い、全国各地から多くの教育関係者が集まります。

そんな本校は、今年度、創立140周年を迎えました。11月には記念式典や記念行事も行います。長い歴史と伝統を受け継ぎながら、これからも、附属っ子と教職員は前進を続けていきます。

(副校長 桐山 真美)

とびつきり最高の旅



伊予教育会
OB
宮内 忠彦

退職して間もなく10年が経とうとしています。私は学生時代から親交が続いている友がいます。彼は奈良県在住ですが、幸いなことに奥さん同士、気が合ったこともあります。家族ぐるみで付き合つてきました。50歳を過ぎたころからは、「お互いに元気な間に」ということで、毎年四人で旅行に出かけることにしました。途中、彼が大病を患った期間とコロナ禍の数年間は途切れましたが、昨年から復活しました。

北は北陸から南は九州まで、多くの観光地を巡りました。高知のよさこい祭りに、徳島の阿波踊りツアーや、伊予灘ものがたりやしまなみ海道巡りなど、四国四県もじっくりと楽しんできました。

今年は5月に九州へ旅行をしました。博多で合流した後、1日目は唐津泊で呼子のイカと佐賀牛を堪能しました。宝くじで有名な「宝当神社」に参拝もしました。(結果は残念でしたが)2日目は秀吉が朝鮮出兵の拠点とした名護屋城跡と有田焼を訪ね、長崎観光の後、嬉野温泉泊。3日目は柳川下りに鰻のせいろ蒸し、佐賀・長崎を満喫しました。

来年は、「琵琶湖周辺の旅」を彼が計画することになっています。滋賀県の観光スポットとグルメが今から楽しみです。この先、何年続くか分かりませんが、できるだけ長く四人で楽しい旅行をし、至福のときを過ごせることを願っています。

私の全力チャレンジ



宇和島市立番城小学校 諭楠 美紗子

私は学生時代に、フィリピンの公立小学校で教育実習ができるプログラムに参加した。プログラムを通して、すてきな仲間に出会い、自分の視野を広げることができた。そしてこの夏、プログラムで関わった仲間や語学学校の先生と約束をしていた再会をするために、3年ぶりにフィリピンを訪れた。

仲間たちは、それぞれの地で教師をしている人、中には教師を辞めて、世界一周をしている人など、各々の道を歩んでいた。最初は、当時の思い出話をし

今回の旅で、次の旅へ向けての課題を見付けた。それは、英語のスルを高め、日本語と同じように気持ちを伝えることができるようになるということだ。また、培った語学力を生かし、今後、別の国にも訪問して、もっともっと違った世界も見えてみたい。これが私の全力チャレンジである。

今回の旅で、次旅へ向けての課題を見付けた。それは、英語のスキルを高め、日本語と同じように気持ちを伝えることができるようになるということだ。また、培った語学力を生かし、今後、別の国にも訪問して、もっともっと違った世界も見てみたい。これが私の全力チャレンジである。

語学校の先生とも再会し、教師になつたことを伝えると、自分が喜んでくださった。会話が進むほどに、もつと話したいのに、伝えたいのにというもどかしさがある。先生は、「だったら、お互いに日本語と英語の勉強をしよう。」と言つてくださいました。

松山市	千葉県	東温市	戒能	多喜
三谷	勝又	常深	池田	容子
美貴	烈	憲人	容子	多喜

- ★ えひめの先生方によって建てられた会館です。
- ★ 会議・研修・宿泊にご利用ください。

エスピワール
愛媛文教会館



TEL (089) 945-8644
FAX (089) 932-0380

東京書籍「新しいまなび!」のプラットフォーム



令和5年5月
Start!

マイアセスでは、オンライン調査「マイアセスCBT」、結果帳票「Webカルテ」、学びを広げる「教材連携機能」をご提供します。アセスメントに基づいた、「自分だけのオリジナル」学び、「児童・生徒・学校・自治体の『今』の教育活動」をマイアセスは応援します。

東京書籍

四国支社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-4-10 大阪東急ビル
Tel : 06-6397-1350 Fax : 06-6397-1358

研究74回日本連合教育大会山口大会印記会



山口大会大会誌より

◇ 第2分科会 (教育課程)

東温市立南吉井小
教諭 河野 裕太

第2分科会では、「令和の日本型学校教育」の構築をめざす教育課程の編成」を研究協議題として、二つの提案発表が行われた。信濃教育会からは「全ての子どもが自分『らしく』生きることができる学校づくり」について提案された。子どもが自分の「らしさ」に気付き、活動する取組と、職員が個の「らしさ」を捉え、学級・授業づくりに生かす取組の2点を柱とする活動を教育課程に位置付けたカリキュラム・マネジメントを行っていた。学校スローが

ンを児童会が立て、行事や週間・月間目標と連携させることで、児童と教師が常に意識して活動が行われていた。また、日々の授業においては、教師が児童を多面的に捉え、個の「らしさ」に寄り添つた支援を行っていた。

山口県教育会では、「小中学校・地域連携カリキュラム」を設定し、生活科、総合的な学習の時間の学習を進めていた。各中学校区で小中連携のカリキュラムを設定し、小中合同の授業を行ったり、地域との関わりを持つたりすることで、同様の学びを経て中学校に進学できるようにしている。また、同カリキュラムを公民館や家庭にも配布することで、行政や地域とのつながりを強化している。

地域の課題解決及び児童生徒の主体性を育成するために、学校運営協議会における児童生徒主役の「熟議」を行い、学びに教職員や地域住民・保護者・児童生徒の参画意識を高めることにつなげていた。

有がなされ、地域に根付いた教育活動を可能にしていた。

◇ 第3分科会 (道徳教育)

八幡浜市立宮内小
教諭 菊池 修平

第3分科会では、「人として他者とともにによりよく生きる子どもを育てる道徳教育の推進」を研究協議題として、「二つの提案があつた。まず、茨城県教育会からは、「自分らしくよりよく生きる資質・能力を育てる道徳教育へのアプローチ」を研究主題として、茨城県桜川市立雨引小学校の取組が発表された。「個性の伸長」「公正・公平・社会正義」を重点内容とし、自分らしさを發揮し、誰とでも仲良く協力できる児童の育成に向けた実践であった。特に、人権教育を意識した内容のオリジナル教材を用いて、全教職員で研修した後、全学年が共通教材として学年に応じた授業を行った取組が印象的だった。研究授業を柱にして、学校が一体となつて教材研究を深めてい

松山市立南第二小
学校 金本 茂樹

◇ 第5分科会 (特別支援教育)

二つの提案発表から、教職員や地域住民・保護者・児童生徒の意識が統一されているからこそ、充実した教育活動になつていることが分かった。児童の願いを教職員が理解したり、学校運営協議会の活動などを通して「開かれた学校」づくりを積極的に行つたりす

けた発表であった。

研究協議では、参加した方々の学校で、どのように道徳科の評価を行っているかの話も出た。単元ごとではなく、年間を通して児童の変容を見取つていただきたい。

今回、このような参考型の研修に参加できたことは大変貴重な経験となつた。学んだことを自分の授業においても実践していただきたい。

他教科等や家庭・地域社会と連携しながら地域道徳教育を構想して実施することで、地域に主体的に関わり、学びを自分ごととしてつなぐ児童の育成につながる取組であつた。また、「単時間道徳学習」においては、児童だけでなく、教師自身もしっかりと計画を立てた上で実践を振り返り、全教職員で「自分ごとの学び」として捉え、指導案形式の作成から事前研究、研究討議など綿密な教材準備に向

るところがよく分かつた。

次に、香川県教育会から、「学びを自分ごととしてつなぐ児童の育成」としてつながら地域道徳教育」を研究主題として、二つの提案が行われた。

まず、富山県教育会から「自發的で主体的な取組を大切にすることで、自立と社会参加に必要な力

を身に付けていく子どもの育成」を研究主題として、富山市立堀川小学校の取組が発表された。「子ウサギとなかよし」「3組なかよしむら」「手づくりせんべいや」など3年間の生活単元学習を通して、夢中になる力、他者との関係を築く力、多様な見方や考え方で問題を解決していく力を育んでいくことをねらい、「子どもの願い・悩み・工夫などの変容や成長から、次の効果的な手段を模索し実践していく内容の発表であった。

次に、山口県教育会から、「連続性がある多様な遊びの場としての通級指導教室の在り方」を研究主題として、宇部市立西宇部小学校の取組が発表された。自立活動を中心とした通級による指導を受けることで、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲を持つこと。さらに適切な指導や支援は、該当の子どもだけではなく、通常の学級の中で学習や生活に困難を感じている子どもたちにとつても有効であることをねらい、実態把握・支援の手立ての構築・協力体制を築きながら、全校で特別支援教育を推進していく実践の発表であった。

2校の取組に共通して、子どもの自己選択や自己決定を日常化した取組を行っていることや、教師の高いスキルだけに頼るのではなく、子どもに深い愛情を注いで観察・計画・実践を行っていること等、一人一人の子どものニーズに応えるための学校教育の在り方について、すばらしい具体例を通して考えを深めることができた。

◆第9分科会
(幼児教育)



松前町立松前小
養護教諭
大西 紫子

を身に付けていく子どもの育成」を研究主題として、富山市立堀川小学校の取組が発表された。「子ウサギとなかよし」「3組なかよしむら」「手づくりせんべいや」などの3年間の生活単元学習を通して、夢中になる力、他者との関係を築く力、多様な見方や考え方で問題を解決していく力を育んでいくことをねらい、子どもの願い・悩み・工夫などの変容や成長から、次の効果的な手段を模索し実践していく内容の発表であつた。

次に、山口県教育会から、「連続

第9分科会では、「未来を豊かに生きる力の基礎を培う幼児教育の推進」を研究協議題として、二つの提案発表が行われた。

「自ら遊びをつくり出し、遊び込む幼児の育成－豊かな経験につながる環境を探る－」を研究主題として、墨田区立八広幼稚園の取組が発表された。幼児は遊びを中心として、様々な対象と主体的に関わりながら総合的に学んでいく。「遊びにつながる遊びを充実させ、「遊び込む姿」を多く引き出すためには、四つの視点『人・モノ・場・イメージ』から、幼児の日々の遊びをふり返るための【読み取りシート】を活用し、翌日の保育に生かしていくことが印象的で、校で特別支援教育を推進していくことでもあります。

次に、山口県教育会より、「連携機関との協働で育むしなやかな幼稚園経営－重点行事の再確認、園内コーディネーター等の取組を通して－」を研究主題に、学校法人華陽学園えんしん幼稚園の取組が発表された。児童と職員が「樂しい」と思えるかどうかを第一に重点行事を再確認し、各行事の状況変化に丁寧に対応し、地域との関連

◆第10分科会 (学校・家庭・地域の連携)



新居浜教育会
副会長
中野 久

わりや中学校との異年齢交流を重視させていた。また、園内コーディネーターを立ち上げることで、職員間と保護者・相談機関等と連携を深めることができ、支援の手立てが広がっていた。

幼児期は、心身の発達が著しく、人の生涯を支える基礎がつくられる大切な時期である。幼稚園から小学校へのスムーズな学びや発達につなげるためには、幼小、互いの子どもたちの遊びや学びの様子を直接見る・知るための交流の機会を持つこと、連携が大切である。養護教諭として、交流会に積極的に参加するなど、一人一人の心身の発達につながる学びのためにできる支援を考えていきたい。

第10分科会では、「人づくりと地域づくりの好循環を創出する地域連携教育の推進」を研究協議題として、三つの提案発表が行われた

「小さな学校のでつかい夢!!」を研究主題に、鳴門市瀬戸中学校の取組が発表された。アフタースクールクラブの実践は、新たな魅力づくりの一環として、コミュニケーション・スクールの仕組みを活用し

た全ての生徒の居場所づくりと総づくりのために行われていた。今後の部活動の在り方について、参考となる内容であった。

次に、山口県教育会からは、「児童の課題と地域の課題を改善に導く既存の教育活動の活用」を研究主題に、宇都市立黒石小学校の取組が発表された。児童のコミュニケーション不足や地域行事を中心とした後継者不足等という地域課題の下、ふるさとへの愛着と担い手意識を育む地域連携教育の推進を中心に、様々な活動に取り組んでいた。各課題について、中学校区の学校運営協議会委員、児童、教職員による熟議を重ね、その内容を学校に持ち帰り、学級会で伝え、各学級で自分たちの改善取組を設定している実践が印象的であつた。

最後に、山口県教育会の光市立浅江中学校から「人づくりと地域づくりの好循環を創出するコミュニケーション・スクールの在り方」を研究主題に、ボランティア活動見直しを中心に取組が発表された。生徒や教員の負担増となっていたボランティア活動を地域の理解を得ながら変更したことによって、より生徒の自主性を育てる活動となり、将来的に地域の創り手となる人材を育成するという学校の果たすべき役割をより明確にしていた。

明治橋

八幡浜教育会
OB
寺坂 俊一

ふるさとスケッチ

No470

ちの被写体ともなってきた橋です。当時、生徒と一緒に描いたスケッチと退職時にいただいた似顔絵が、それぞれの懐かしい時間を思い出させてくれます。



ご冥福をお祈りします

山下	石川	米田	西村	武井	鬼代	高橋	尾崎	多喜	男様
祐二	雅弘	光造	春海	律夫	美様	弓弦	加藤	千丈	

94歳	92歳	96歳	83歳	96歳	93歳	89歳	92歳	92歳	
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

西宇和郡伊方町釜木五 一	四国中央市妻鳥町西二 六	北宇和郡松野町延野タ 二四一七	宇和島市丸之内二四一 七	松山市南高井町二五七 二	千葉県浦安市富士見二 一五	西条市中野甲二一五	西宇和郡伊方町湊浦二 三一四	八幡浜市保内町磯崎二 三三	
-----------------	-----------------	--------------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------	-------------------	------------------	--

5	5	5	5	5	5	5	5	5	
9	9	9	9	9	9	9	9	8	
22	21	20	19	19	9	9	7	21	

明治37年(1904年)頃、市内を流れる千丈川に木製トラス橋として建設され、昭和5年(1930年)に現在のアーチ型の鉄筋コンクリート橋に掛け替えられた明治橋。長年、市民生活を支えてきただけでなく、校内写生大会等で子どもたち

郡中の町並み

ローカルトピックス

伊予市郡中地区の湊町・
人権獲得百年の歴史とともに

富山県の漁村に端を発するこの米騒動は、その後全国に拡大し、大正デモクラシーとして、自由と平等を求める市民運動へ発展しました。

灘町周辺の町並みや佇まいは、江戸末期から大正期の様子をとどめる歴史的建築物群として、今も大切に遺されています。

大正7年8月14日の郡中米騒動では、不合理な米の高騰に苦しんでいた市民が、この湊神社で蜂起しました。付近の町屋には、当時壊された一升桶も保存されています。

やがて、差別からの解放を求める水平社運動も起こります。全国水平社創立(大正11年)の翌年5月には、伊予市でも水平社支部が設立されました。今からちょうど100年前のことです。現在も先人の熱き思いは100年のバトンとして市民に受け継がれ、市全体として、人権学習に積極的に取り組まれています。

取材協力：伊予市人権・同和教育主任会
(愛媛文教月報編集協力委員 瀧岡 雅人)



教育振興事業
愛学事業
教育研究助成事業
教育文化事業

福祉事業

共済事業
(提携保険事業)

教育の振興を目指す!
日教弘の3大事業



公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
〒790-8545 愛媛県松山市桜谷町1-5-33 エスピワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357



洋服の青山カード会員
ご入会のおすすめ

愛媛県学校生活協同組合連合会では、
洋服の青山と提携店契約を結んでおります。

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生活協同組合



学校生協組合員価格として、
店頭価格より10%の割引が適用されます。